

【高橋館長からのメッセージ】

皆様、こんにちは。

今年は雨の多い梅雨でしたが、晴れた日は木々の緑も濃く感じます。暑い夏が始まりました。夢の島公園では、来年の東京 2020 大会のテストイベントが行われ、海外の方が本番さながらの競技を行っていました。

さて、グリーンパークでは、地域の方々と植えた夏花の花壇でお楽しみ下さい。花壇のデザインはアーチェリーの的となっています。植え付け後も「お世話をしてみたい」という方々のために、毎月メンテナンス(花がら取りや除草)など作業を行っています。8月は28日10時より開催予定。参加者の方々には、プレゼントもご用意しています。

夢の島熱帯植物館も夏休み恒例の夜間開館を7月20日と21日に行いました。当日は、たくさんの方々にご来館いただき、誠にありがとうございました。夜間開館は、8月にも行いますので、ぜひこの機会に「夜に咲く花」や「夜に香る花」をお楽しみ下さい。工夫を凝らした照明で皆様をお待ちしております。

館長 高橋 将

季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

夏休みの自由研究のテーマを探しに植物館へ足を運んでください。企画展「食虫植物と熱帯の生きものたち展」はヒントがいっぱい。また8月も夜の植物もご覧いただけるよう「夜間開館」を行います。大温室の開放はもちろんのこと、日替わりイベントメニューやスポットガイドも！新木場駅から無料シャトルバスをご利用ください。特に18日の「我那覇美奈スペシャルライブ」は植物館がまるで奄美のようになります。学びに遊びに真夏の植物館へどうぞ！！！！

【8月の企画展】 「食虫植物と熱帯の生きものたち展」(7/15~9/1)

- 《関連イベント》「食虫植物の栽培相談会・即売会」「食虫植物の捕食実験」予約制(8/4)
- 「昆虫標本を作ろう」予約制(8/11) 「ボトルアクアリウムを作ろう」予約制(8/18)
- 《季節イベント》「夜間開館 2019」(8/17,18) 「我那覇美奈スペシャルライブ」(8/18)
- 「ミニテラリウムを作ろう」予約制(8/12)
- 「ウィークエンドコンサート」(8/4,17) 「ハーブの学校」予約制(8/4)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。



食虫植物温室で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当)

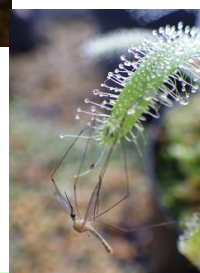
モウセンゴケは多年草の食虫植物で、140種以上が北半球の温帯から亜寒帯にかけて広く分布し、日本でも北海道から九州(屋久島が南限)までの湿った土地に自生しています。

当館の食虫植物温室には、葉が二又に分かれるサスマタモウセンゴケ、同じ品種で分かれる数が四つのヨツマタモウセンゴケ、八つのヤツマタモウセンゴケがあります。またアフリカナガバモウセンゴケも展示しています。

虫を捕らえるのは葉身の部分で、葉の表面には色々な長さの200本あまりの腺毛が密生しています。腺毛の粘液に虫が捕まると、逃れようともかく刺激により粘液のかたまりがはぎとられ、同じ腺毛の頭部から流動性のある消化液が分泌されます。同時に、腺毛は虫の動きに刺激されて屈曲運動を起こし、周囲の腺毛も動いて虫を包み込みます。分泌される消化液と葉上に共存する細菌で分解されたものは、腺毛の頭部や葉表面から速やかに吸収され、新芽など植物体の他の部位へと移動し栄養分となります。



▲アフリカナガバモウセンゴケ (モウセンゴケ科)

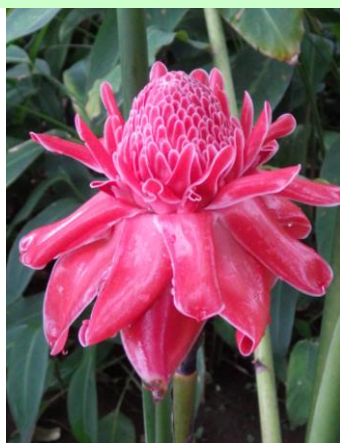


捕虫の様子▶

今月の花と果実



▲ フウリンブッソウゲ



▲ トーチジンジャー



▲ サンタンカ

♪この時期のお花たち♪

いよいよ夏の到来です。赤い花があちこちで見ごろを迎えています。大温室ではブッソウゲやオドントネマ・ストリクツム、たわわに実る赤バナナの実など、見るだけで夏休み気分が盛り上がりします。屋外の花壇も夏に強い花でいっぱい。クロトンやコリウス、極楽鳥花などの魅せる葉の活躍で南国に迷い込んだ気分です。
8/1~8/31
迫力のトーチジンジャーは必見。コーヒー・紅茶一杯無料です。【サービス券】団体不可